

# 留学生交流通信2020

国際交流センターでは、2021年1月末から日本の学生と留学生がともに交流を広げる活動を始めました。

新型コロナウイルス感染症が流行し、2020年は多くの人にとって何もかも手探り状態の一年になりました。自分が生まれ育った地を離れ、学ぶために日本へ来ていた留学生の皆さんは中でも一際強い不安や不自由さを抱えていたことでしょう。この一年の生活について、現代人間学部の呂さんと林さん、表現学部の姜さんと池田さん、経済経営学部のチャクさんと平本さんの6人で語り合いました。

## 中国からの留学生、姜さんのオンライン授業生活

オンライン授業で負担が大きかったのは課題の量でした。課題を出す側である先生にとっても初の試みです。各講義で少なくない量の課題が出るため、様々な授業の課題に板挟みになる忙しい生活を余儀なくされました。

外出もままならず、毎日家に引きこもり運動不足で体調が悪くなってきましたが、配信サイトでアニメを見ることでストレスを発散していました。インターネットの環境さえあれば家を一步も出ずに多くのアニメ作品を楽しめる配信サイトの存在は、長いステイホーム生活において頼もしい味方だったと言えるでしょう。

また、週に2～3回ほど、他の留学生友達と連絡を取り合い、実際に顔を合わせることも難しくても交流を絶やさないようにしていました。

## 姜さんに届いた留学生たちの声

3年生：昨年春に中国に戻り、日本に帰れなくなってオンライン授業で助かりました。

中国はだいぶ落ち着いたので、授業がない間は家族と旅行しました。

3年生：昨年春節に実家に帰り家族と過ごして楽しかったが、日本に戻れなくなりました。

実家で幼い弟の世話をしながらオンライン授業を受けていました。

3年生：前期のZoom授業で、トイレに行っている間に指名されたり質問されたりして、気まずかったです。

4年生：大学院に進学したいので、参考資料と本をたくさん買って勉強しました。

一人暮らしで自粛、友達と会えなくて寂しい。

院 生：中国に帰ったまま半年たってしまい、アルバイトを辞めるしかなかったです。最近やっと日本に戻ることができました。新しいバイトを探さなければならなのですが、レポートが多くてその余裕がないですね。

# 中国からの留学生、呂さんQ&A



## Q：ステイホーム期間の過ごし方は？

A：姜さんと同じで、アニメを見たり、東野圭吾の小説『白夜行』とかを読んでいました。東野圭吾の小説は、中国で10冊くらい読みましたが、日本に来て中国語訳のないのをまた10冊くらい読みました。その他に、趣味でフィギュアを集めていて、ネット通販で買ったりしました。

## Q：東野圭吾は有名？

A：『容疑者Xの献身』とかが有名で、映画化されました。（中国版『嫌疑人X的献身』、2017年公開）。その他、おススメは『白夜行』『マスカレードホテル』、どれもロジック性、推理性がとても面白いです。

## Q：ゲームはやりますか？

A：和光大学出身生がゲームディレクターをしているらしいFGO(フェイトグランドオーダー)を半年くらいやっています。『寄生獣』を書いた人も和光の人で、すごいなと思いました。『リーグ・オブ・レジェンズ』ってゲーム知っていますか？中国の神話とか実在していた人がでているゲームです。



## Q：4月からやりたい事は？

A：コロナの影響で行けなかった、日本の観光地に行ってみたい。来年には4年生になるから卒論とかゼミの勉強とか大変。長いと思っていた大学生活も、もう短いのだなと思うと少し寂しい。

## Q：行ってみたい日本の観光地はどこですか。

A：今まで伊東、京都、鹿児島、沖縄には行った事があるから、今から行きたいところは神戸、箱根とか、お城も好きだから姫路城にも行きたい。中学校の頃から日本のお城や、紫式部や清少納言の作品が好きで、その影響もあって日本に留学しました。

## Q：コロナが終わったら行きたい所は？

A：今までは半年に一回くらい帰国していたのに、コロナの影響で一年半くらい帰れてないから、まずは帰国したいと思っています。

## Q：2月13日の地震の時、

### 緊急情報は伝わりましたか？

A：地震の情報はスマホやネットで確認しています。いつもスマホは見ているし、池袋にある防災館に行ったことがあって、そこで地震についての知識を知ることができたから。それに、重要な情報は基本的に数字で表わされているのであまり問題はないです。

私は地震が起きたときに中国の友達と一緒にゲームをしていたのだけれど、「ちょっとまって地震だ!」と中国の友達に伝えたら、彼等は地震があまりない地域に住んでいるので、かなり心配されました。

# ベトナムからの留学生、チャクさんQ&A



## Q：オンライン授業はいかがでしたか？

A：課題が多くて、大変でした。日本語を理解するのが難しかったです。わからないことは、インターネットを使い調べました。何より辛かったのは、大学の友達に会えないことです。早く会いたいです。

## Q：ゼミナールではどんなことをしましたか？

A：原価計算論について学びました。簿記3級取得に向けて Zoom授業を受けました。とても難しいです。

## Q：授業外での過ごし方は？

A：まもなく、ベトナムでは春節が始まります。今年はコロナの影響で帰れません。とても残念です。アルバイトは新聞配達をしているので特に影響はありませんでした。外出は、買い物や、健康診断を受けに病院へ行きました。

フォーと揚げパン  
「PHO THIN」ハノイ店にて  
林智也撮影



## Q：ストレス発散方法は？

A：気分転換に筋トレをしていました。『みんなで筋肉体操』（NHK制作班、谷本道哉）を使用しました。とても分かりやすく、日本語の勉強にもなりました。筋肉も少し付きました。

（テキストを見せながら語るチャクさんに、通信員一同、「お～お！」）

## Q：コロナウイルスが収束したら、どこへ行きたいですか？

A：京都の東映太秦映画村へ行きたいです。日本語学校に通っていた時代に友達と行きました。日本の古い歴史に触れられるのがとてもいいです。

## Q：4月から対面での授業が予定されています。目標を！

A：前期は簿記3級をとって、後期は2級の勉強をして、2級を受験するつもりです。4年で卒業の準備ができるよう、3年のうちに単位をしっかりとります。



私の田舎はベトナムでココナッツの生産量が一番です。ベンチェという県です。左の写真は私のお姉ちゃんのご主人の結婚記念日の写真です。上から見ると私の田舎はどこにでもココナッツがあります。

# オンライン授業形式ランキング

授業の形式が講義によって大きく異なるのもオンライン授業の特徴でした。

その形式はざっくりと、3つに分けられます。

◆Zoomなどを使う「リアルタイム双方向型」

◆「動画配信型」

◆「文字資料配信型」

最後にこのオンライン授業3タイプのランキングをききました。

留学生3人そろって以下のような結果に。



「文字資料配信型」は日本人学生の評判があまり良くないので意外でした。でも、理由をきいて納得です。



資料配信は分からない日本語などを辞書で調べながら勉強することができる



一週間の期間内なら自由な時間に勉強できる

先生の雑談が入りがちな「リアルタイム双方向型」や「動画配信型」と比べ、「文字資料配信型」は要点がまとまっており、分からないところは調べながら自分のペースで授業を進められるので優れているというわけです。「動画配信型」も、「日本語を一回聞いただけでは理解できない事もあるので、動画なら何回か聞き直すことができる」と二位でした。

三位の「リアルタイム双方向型」は、「顔を見ることも、直接質問もできる」というメリットの一方で、時間の制約があることや、「いきなり指名されたりすると戸惑ってしまう」などの感想もありました。教室だと身振りや雰囲気を感じることができそうですが、オンラインでは心の準備をする余裕がありません。

ちなみに通信員の日本人学生3人のランキングはバラバラでした。動画や文字資料は何回でも見返せるし、自由な時間にできるなど、留学生と同じくメリットを感じましたが、文字資料は字が多すぎて読むのが大変とか、動画よりも文字資料がわかりやすいなど、いろいろな意見が飛び交いました。



## 和光大学国際交流センター 留学生交流通信2020

文：留学生交流通信員

現代人間学部 林智也 呂瑋澤

表現学部 池田章子 姜安然

経済経営学部 DINH TRUNG TRAC 平本陸理

イラスト：池田章子

2021年3月 和光大学国際交流センター発行

〒195-8585 東京都町田市金井ヶ丘5丁目1番1号

E-mail: wucice@wako.ac.jp